

# 四半期報告書

(第48期第2四半期)

自 平成21年7月1日  
至 平成21年9月30日

株式会社 **エフピコ**

## 表紙

第一部 企業情報	1
第1 企業の概況	1
1 主要な経営指標等の推移	1
2 事業の内容	2
3 関係会社の状況	2
4 従業員の状況	2
第2 事業の状況	3
1 生産、受注及び販売の状況	3
2 事業等のリスク	5
3 経営上の重要な契約等	5
4 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析	5
第3 設備の状況	7
第4 提出会社の状況	8
1 株式等の状況	8
(1) 株式の総数等	8
(2) 新株予約権等の状況	8
(3) ライツプランの内容	8
(4) 発行済株式総数、資本金等の推移	8
(5) 大株主の状況	9
(6) 議決権の状況	10
2 株価の推移	11
3 役員の状況	11
第5 経理の状況	12
1 四半期連結財務諸表	13
(1) 四半期連結貸借対照表	13
(2) 四半期連結損益計算書	15
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	17
2 その他	23
第二部 提出会社の保証会社等の情報	24

[四半期レビュー報告書]

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成21年11月11日
【四半期会計期間】	第48期第2四半期（自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日）
【会社名】	株式会社エフピコ
【英訳名】	FP CORPORATION
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 佐藤 守正
【本店の所在の場所】	広島県福山市曙町一丁目12番15号
【電話番号】	084(953)1145(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役 経理財務本部本部長 瀧崎 俊男
【最寄りの連絡場所】	広島県福山市曙町一丁目12番15号
【電話番号】	084(953)1145(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役 経理財務本部本部長 瀧崎 俊男
【縦覧に供する場所】	株式会社エフピコ東京本社 （東京都新宿区西新宿六丁目8番1号 新宿オークタワー 36F） 株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号） 株式会社大阪証券取引所 （大阪市中央区北浜一丁目8番16号）

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第47期 第2四半期連結 累計期間	第48期 第2四半期連結 累計期間	第47期 第2四半期連結 会計期間	第48期 第2四半期連結 会計期間	第47期
会計期間	自平成20年 4月1日 至平成20年 9月30日	自平成21年 4月1日 至平成21年 9月30日	自平成20年 7月1日 至平成20年 9月30日	自平成21年 7月1日 至平成21年 9月30日	自平成20年 4月1日 至平成21年 3月31日
売上高（百万円）	64,449	63,002	33,968	32,375	128,244
経常利益（百万円）	3,920	6,010	2,522	3,193	9,298
四半期（当期）純利益（百万円）	2,325	3,480	1,469	1,671	5,302
純資産額（百万円）	—	—	52,005	57,057	54,248
総資産額（百万円）	—	—	123,063	138,728	138,791
1株当たり純資産額（円）	—	—	2,487.20	2,729.08	2,594.40
1株当たり四半期（当期）純利益 金額（円）	110.86	166.65	70.38	80.03	253.29
潜在株式調整後1株当たり四半期 （当期）純利益金額（円）	—	—	—	—	—
自己資本比率（％）	—	—	42.2	41.1	39.0
営業活動による キャッシュ・フロー（百万円）	5,171	5,817	—	—	14,568
投資活動による キャッシュ・フロー（百万円）	△5,017	△5,627	—	—	△5,725
財務活動による キャッシュ・フロー（百万円）	1,522	△4,843	—	—	△960
現金及び現金同等物の四半期末 （期末）残高（百万円）	—	—	9,901	11,454	16,108
従業員数（人）	—	—	2,759	2,972	2,890

（注） 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

## 2 【事業の内容】

当第2四半期連結会計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 3 【関係会社の状況】

当第2四半期連結会計期間において、重要な関係会社の異動はありません。

## 4 【従業員の状況】

### (1) 連結会社の状況

平成21年9月30日現在

従業員数（人）	2,972	(422)
---------	-------	-------

(注) 1 従業員数は就業人員であります。

2 従業員数欄の（ ）は、準社員（給与体系が時間給支給であっても就業時間が社員と同一の者）を内数で記載しております。

### (2) 提出会社の状況

平成21年9月30日現在

従業員数（人）	671	(1)
---------	-----	-----

(注) 1 従業員数は就業人員であります。

2 従業員数欄の（ ）は、準社員（給与体系が時間給支給であっても就業時間が社員と同一の者）を内数で記載しております。

## 第2【事業の状況】

### 1【生産、受注及び販売の状況】

#### (1) 生産実績

##### 製品別生産実績

品目	当第2四半期連結会計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)	前年同四半期比 (%)
製品		
トレー容器 (百万円)	3,644	81.9
弁当容器 (百万円)	8,158	88.2
その他製品 (百万円)	579	77.5
合計 (百万円)	12,382	85.7

(注) 1 生産高は、主として生産数量に見積り製造原価(単価)を乗じて算定しておりますが、その他製品の一部については、販売価格によっております。

2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

##### 製品・商品仕入実績

品目	当第2四半期連結会計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)	前年同四半期比 (%)
製品		
トレー容器 (百万円)	497	56.4
弁当容器 (百万円)	2,628	94.5
その他製品 (百万円)	44	67.4
小計 (百万円)	3,171	85.0
商品		
包装資材 (百万円)	4,731	100.1
その他商品 (百万円)	2,989	89.0
小計 (百万円)	7,721	95.5
合計 (百万円)	10,892	92.2

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

#### (2) 受注実績

当社グループは、主として需要見込みによる生産方式をとっているため、受注状況については特記すべき事項はありません。

## (3) 販売実績

品目	当第2四半期連結会計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)	前年同四半期比 (%)
製品		
トレー容器 (百万円)	6,723	95.9
弁当容器 (百万円)	17,675	101.0
その他製品 (百万円)	410	82.7
小計 (百万円)	24,809	99.2
商品		
包装資材 (百万円)	4,577	97.2
その他商品 (百万円)	2,988	70.3
小計 (百万円)	7,566	84.4
合計 (百万円)	32,375	95.3

(注) 1 総販売実績に対し10%以上に該当する販売先はありません。

2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## 2 【事業等のリスク】

当第2四半期連結会計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

## 3 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

## 4 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期報告書提出日現在において当社グループが判断したものであります。

### (1) 業績の状況

当第2四半期連結会計期間におけるわが国経済は、昨年秋以降の急速な景気悪化局面から、一部で持ち直しの動きが見られるものの、雇用の悪化など、依然として厳しい状態が続いております。

当業界におきましても、消費の冷え込みに伴い、外食から中食・内食へのシフトはあったものの、食品小売においては、買上げ個数の減少、買上げ単価の下落など、非常に厳しい状態が続いております。一方、当社主力製品の原材料価格におきましても、前第4四半期から値下がりした価格が当第2四半期より値上がりに転じ、原材料コストの上昇による利益の圧迫が懸念されます。

このような状況の下、販売面におきましては、製品売上高は、原材料価格の値下がりに伴い、製品価格の値下げを実施したことにより、汎用製品・軽量化製品の拡販などにより製品販売数量は増加したものの、前年同期を下回りました。また、商品売上高は、不採算取引の見直しを進めたため、前年同期を下回りました。この結果、売上高は323億75百万円となり、前年同四半期連結会計期間比15億93百万円の減収となりました。

利益面におきましては、前第4四半期より値下がりした原材料価格は、当第2四半期より値上がりに転じたものの、原材料コスト増減による利益への影響は前年同四半期連結会計期間比9億円の改善となりました。これに対しては、製品価格の値下げを実施しております。他方、製品販売数量の増加及び製品の軽量化・素材切替が進んだこと、生産・物流などの社内合理化が順調に推移したことなどによる利益改善額は15億円となり、経費4億30百万円の増加があったものの、当第2四半期連結会計期間の経常利益は31億93百万円となり、前年同四半期連結会計期間比6億71百万円の増益となりました。

なお、前第2四半期連結会計期間に、販売用動産の一過性の商品売上高13億33百万円及び同経常利益4億5百万円が含まれております。

### (2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前年同四半期末に比べ15億53百万円増加し、114億54百万円となりました。

なお、前年度末に比べ46億54百万円の減少となっております。

当第2四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により獲得した資金は、49億34百万円（前年同期は70億30百万円資金獲得）となりました。

これは主に税金等調整前四半期純利益30億44百万円と減価償却費20億67百万円及び売上債権10億52百万円の増加、たな卸資産8億79百万円の減少などによるものです。

#### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により支出した資金は、配送センター及び工場の生産設備等有形固定資産の取得による支出22億32百万円などにより24億5百万円（前年同期は31億66百万円の支出）となりました。

#### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により支出した資金は、借入金等の純減少額16億78百万円とリース債務の返済による支出8億37百万円などにより25億31百万円（前年同期は10億45百万円の支出）となりました。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結会計期間において、当連結会社の事業上及び財務上の対処すべき課題に、重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

当第2四半期連結会計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、2億80百万円であります。

なお、当第2四半期連結会計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

(5) 経営成績に重要な影響を与える要因及び経営戦略の現状と見通し

今後の見通しにつきましては、原料価格動向に加え、金融危機の影響などにより、景気の先行きが不透明な状況が続くと予想されます。

当社グループにおきましては、このような厳しい局面を乗り切るために、徹底した社内合理化を更に推し進め、原材料価格の動向はもとより需給環境の変化をも見定め、購買面からも原材料コストの削減に努めてまいります。

### 第3【設備の状況】

(1) 主要な設備の状況

当第2四半期連結会計期間において、主要な設備に重要な異動はありません。

(2) 設備の新設、除却等の計画

当第2四半期連結会計期間において、前四半期連結会計期間末において計画中であった重要な設備の新設、除却等について、重要な変更はありません。また、新たに確定した重要な設備の新設、拡充、改修、除却、売却等の計画はありません。

## 第4【提出会社の状況】

### 1【株式等の状況】

#### (1)【株式の総数等】

##### ①【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	60,000,000
計	60,000,000

##### ②【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数 (株) (平成21年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成21年11月11日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	22,142,106	22,142,106	東京証券取引所 大阪証券取引所 (各市場第一部)	単元株式数 100株
計	22,142,106	22,142,106	—	—

#### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

#### (3)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

#### (4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金増 減額 (百万円)	資本準備金残 高(百万円)
平成21年7月1日～ 平成21年9月30日	—	22,142,106	—	13,150	—	15,487

## (5) 【大株主の状況】

平成21年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合 (%)
株式会社小松安弘興産	東京都港区南麻布5丁目6番48号	6,041	27.29
株式会社エフピコ	広島県福山市曙町1丁目12番15号	1,257	5.68
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	東京都中央区晴海1丁目8番11号	1,125	5.08
積水化成工業株式会社	大阪市北区西天満2丁目4番4号	716	3.24
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口)	東京都港区浜松町2丁目11番3号	691	3.12
エフピコ共栄会	広島県福山市曙町1丁目12番15号	470	2.13
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(退職給付信託積水化 成品工業口)	東京都港区浜松町2丁目11番3号	450	2.03
株式会社西日本シティ銀行	福岡市博多区博多駅前3丁目1番1号	440	1.99
日本トラスティ・サービス信託 銀行株式会社(りそな銀行再信 託分・株式会社もみじ銀行退職 給付信託口)	東京都中央区晴海1丁目8番11号	381	1.72
小松 安弘	広島県福山市	374	1.69
計	—	11,949	53.97

## (6) 【議決権の状況】

## ① 【発行済株式】

平成21年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式(自己株式等)	—	—	—
議決権制限株式(その他)	—	—	—
完全議決権株式(自己株式等)	(自己株式) 普通株式 1,257,700	—	—
	(相互保有株式) 普通株式 16,700	—	—
完全議決権株式(その他)	普通株式 20,848,900	208,489	—
単元未満株式	普通株式 18,806	—	1単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	22,142,106	—	—
総株主の議決権	—	208,489	—

(注) 「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が100株含まれており、「議決権の数」欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数1個が含まれております。

## ② 【自己株式等】

平成21年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社エフピコ	広島県福山市曙町一丁目12番15号	1,257,700	—	1,257,700	5.68
(相互保有株式) 株式会社石田商店	広島市西区商工センター五丁目5番2号	16,700	—	16,700	0.08
計	—	1,274,400	—	1,274,400	5.76

(注) 上記のほか、株主名簿上は当社名義となっておりますが、実質的に所有していない株式が100株(議決権の数1個)あります。

なお、当該株式数は上記「発行済株式」の「完全議決権株式(その他)」の欄に含めております。

## 2【株価の推移】

【当該四半期累計期間における月別最高・最低株価】

月別	平成21年4月	5月	6月	7月	8月	9月
最高（円）	4,250	4,670	4,520	4,380	4,690	4,660
最低（円）	3,400	3,330	4,210	3,950	4,230	4,370

（注） 最高・最低株価は、大阪証券取引所市場第一部におけるものであります。

## 3【役員の様況】

前事業年度の有価証券報告書の提出日後、当四半期報告書の提出日までにおいて、役員の様動はありませぬ。

## 第5【経理の状況】

### 1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。）に基づいて作成しております。

なお、前第2四半期連結会計期間（平成20年7月1日から平成20年9月30日まで）及び前第2四半期連結累計期間（平成20年4月1日から平成20年9月30日まで）は、改正前の四半期連結財務諸表規則に基づき、当第2四半期連結会計期間（平成21年7月1日から平成21年9月30日まで）及び当第2四半期連結累計期間（平成21年4月1日から平成21年9月30日まで）は、改正後の四半期連結財務諸表規則に基づいて作成しております。

### 2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、前第2四半期連結会計期間（平成20年7月1日から平成20年9月30日まで）及び前第2四半期連結累計期間（平成20年4月1日から平成20年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表については監査法人トーマツによる四半期レビューを受け、また、当第2四半期連結会計期間（平成21年7月1日から平成21年9月30日まで）及び当第2四半期連結累計期間（平成21年4月1日から平成21年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表については有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

なお、監査法人トーマツは、監査法人の種類の変更により、平成21年7月1日をもって有限責任監査法人トーマツとなっております。

1 【四半期連結財務諸表】  
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	11,454	16,108
受取手形及び売掛金	29,108	25,860
販売用不動産	40	51
商品及び製品	10,128	10,912
仕掛品	52	21
原材料及び貯蔵品	1,319	1,313
その他	5,018	4,334
貸倒引当金	△94	△85
流動資産合計	57,028	58,516
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	※1 29,440	※1 29,603
機械装置及び運搬具(純額)	※1,2 5,341	※1,2 5,183
土地	24,110	22,865
リース資産(純額)	※1 11,582	※1 12,255
その他(純額)	※1 3,834	※1 3,435
有形固定資産合計	74,310	73,344
無形固定資産	※3 1,333	※3 1,284
投資その他の資産	※4 6,055	※4 5,646
固定資産合計	81,699	80,275
資産合計	138,728	138,791
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	14,178	13,744
短期借入金	23,682	30,484
コマーシャル・ペーパー	5,000	—
未払法人税等	2,972	2,814
賞与引当金	1,511	1,277
役員賞与引当金	38	73
その他	8,929	10,058
流動負債合計	56,311	58,453
固定負債		
長期借入金	13,855	14,303
退職給付引当金	1,431	1,371
役員退職慰労引当金	916	704
負ののれん	52	104
その他	9,102	9,605
固定負債合計	25,358	26,090
負債合計	81,670	84,543

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,150	13,150
資本剰余金	15,497	15,487
利益剰余金	31,836	29,254
自己株式	△3,904	△3,902
株主資本合計	56,580	53,990
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	414	192
評価・換算差額等合計	414	192
少数株主持分	62	64
純資産合計	57,057	54,248
負債純資産合計	138,728	138,791

(2) 【四半期連結損益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	※1 64,449	63,002
売上原価	47,861	43,504
売上総利益	16,588	19,497
販売費及び一般管理費	※2 12,864	※2 13,653
営業利益	3,723	5,844
営業外収益		
受取利息	55	28
受取配当金	37	43
補助金収入	125	230
負ののれん償却額	52	52
その他	186	169
営業外収益合計	457	524
営業外費用		
支払利息	172	325
コマーシャル・ペーパー利息	39	0
その他	48	31
営業外費用合計	260	358
経常利益	3,920	6,010
特別利益		
固定資産売却益	5	0
賞与引当金戻入額	—	35
受取保険金	—	11
その他	1	0
特別利益合計	6	48
特別損失		
固定資産除売却損	66	109
関係会社株式評価損	44	—
減損損失	—	52
その他	15	4
特別損失合計	126	166
税金等調整前四半期純利益	3,801	5,891
法人税、住民税及び事業税	1,459	2,904
法人税等調整額	12	△499
法人税等合計	1,471	2,405
少数株主利益	3	6
四半期純利益	2,325	3,480

## 【第2四半期連結会計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結会計期間 (自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)
売上高	※1 33,968	32,375
売上原価	24,981	22,263
売上総利益	8,987	10,111
販売費及び一般管理費	※2 6,553	※2 6,973
営業利益	2,433	3,138
営業外収益		
受取利息	28	12
受取配当金	0	0
補助金収入	79	119
負ののれん償却額	26	26
その他	92	72
営業外収益合計	226	231
営業外費用		
支払利息	92	159
コマーシャル・ペーパー利息	20	0
その他	25	16
営業外費用合計	137	176
経常利益	2,522	3,193
特別利益		
固定資産売却益	—	0
受取保険金	0	6
特別利益合計	0	6
特別損失		
固定資産除売却損	33	98
関係会社株式評価損	44	—
減損損失	—	52
その他	15	4
特別損失合計	93	155
税金等調整前四半期純利益	2,429	3,044
法人税、住民税及び事業税	764	1,776
法人税等調整額	192	△407
法人税等合計	956	1,369
少数株主利益	2	3
四半期純利益	1,469	1,671

## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	3,801	5,891
減価償却費	2,291	4,075
減損損失	—	52
賞与引当金の増減額 (△は減少)	83	216
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△45	△35
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	25	20
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	0	211
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	60	60
関係会社株式評価損	44	—
固定資産除売却損益 (△は益)	61	108
受取利息及び受取配当金	△93	△72
支払利息	211	326
売上債権の増減額 (△は増加)	※2 △2,301	△3,174
たな卸資産の増減額 (△は増加)	1,045	757
未収入金の増減額 (△は増加)	473	△301
仕入債務の増減額 (△は減少)	106	406
その他	232	206
小計	5,999	8,751
利息及び配当金の受取額	93	72
利息の支払額	△213	△320
法人税等の支払額	△708	△2,694
その他	—	8
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,171	5,817
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△4,863	△5,180
無形固定資産の取得による支出	△435	△351
長期貸付けによる支出	△458	△394
長期貸付金の回収による収入	730	495
その他	10	△196
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,017	△5,627
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,400	△6,000
コマーシャル・ペーパーの純増減額 (△は減少)	—	5,000
長期借入れによる収入	9,300	5,000
長期借入金の返済による支出	△5,009	△6,250
自己株式の売却による収入	—	26
自己株式の取得による支出	△732	△1
リース債務の返済による支出	—	△1,716
配当金の支払額	△632	△898
少数株主への配当金の支払額	△2	△3
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,522	△4,843
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,676	△4,654
現金及び現金同等物の期首残高	8,225	16,108
現金及び現金同等物の四半期末残高	※1 9,901	※1 11,454

【四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更】

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
連結の範囲に関する事項の変更	(1) 連結の範囲の変更 第2四半期連結会計期間より、株式会社エフピコ北海道は全株式を取得したため、また、株式会社茨城ビジョンリサイクルは新たに設立したため、連結の範囲に含めております。 (2) 変更後の連結子会社の数 30社

【表示方法の変更】

	当第2四半期連結会計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)
(四半期連結貸借対照表)	「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」(平成20年8月7日 内閣府令第50号)が適用となることに伴い、前第2四半期連結会計期間において、「販売用不動産」「商品」「製品」「半製品」「原材料」「仕掛品」「貯蔵品」として掲記されていたものは、当第2四半期連結会計期間より「販売用不動産」「商品及び製品」「仕掛品」「原材料及び貯蔵品」に区分掲記しております。 なお、当第2四半期連結会計期間の「商品」「製品」「半製品」「原材料」「貯蔵品」はそれぞれ656百万円、9,133百万円、337百万円、863百万円、455百万円であります。

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
(四半期連結損益計算書)	前第2四半期連結累計期間において、特別利益の「その他」に含めて表示しておりました「受取保険金」は、特別利益総額の100分の20を超えたため、当第2四半期連結累計期間では区分掲記することとしました。なお、前第2四半期連結累計期間の特別利益の「その他」に含まれる「受取保険金」は1百万円であります。

【簡便な会計処理】

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
たな卸資産の評価方法	たな卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積もり、簿価切下げを行う方法によっております。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

該当事項はありません。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末 (平成21年3月31日)
※1 有形固定資産の減価償却累計額は、59,826百万円であります。	※1 有形固定資産の減価償却累計額は、56,758百万円であります。
※2 国庫補助金の受入れにより、機械装置及び運搬具の取得価額より控除した固定資産の圧縮記帳累計額は、170百万円であります。	※2 同左
※3 無形固定資産には、のれんが342百万円含まれております。	※3 無形固定資産には、のれんが242百万円含まれております。
※4 資産の金額から直接控除している貸倒引当金の額は、次のとおりであります。 投資その他の資産 95百万円	※4 資産の金額から直接控除している貸倒引当金の額は、次のとおりであります。 投資その他の資産 84百万円

(四半期連結損益計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
※1 売上高には、販売用美術骨董品の売上が1,333百万円(売上総利益410百万円)含まれております。 上記は、関連当事者(小松安弘)との取引であります。	1 —
※2 販売費及び一般管理費のうち、主要な費目及び金額は、次のとおりであります。 運搬及び保管費 4,846百万円 従業員給与 2,001 役員賞与引当金繰入額 26 賞与引当金繰入額 491 退職給付費用 100 役員退職慰労引当金繰入額 25	※2 販売費及び一般管理費のうち、主要な費目及び金額は、次のとおりであります。 運搬及び保管費 4,505百万円 従業員給与 2,094 役員賞与引当金繰入額 38 賞与引当金繰入額 697 退職給付費用 99 役員退職慰労引当金繰入額 232

前第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)
※1 売上高には、販売用美術骨董品の売上が1,333百万円(売上総利益410百万円)含まれております。 上記は、関連当事者(小松安弘)との取引であります。	1 —
※2 販売費及び一般管理費のうち、主要な費目及び金額は、次のとおりであります。 運搬及び保管費 2,472百万円 従業員給与 995 役員賞与引当金繰入額 13 賞与引当金繰入額 224 退職給付費用 48 役員退職慰労引当金繰入額 12	※2 販売費及び一般管理費のうち、主要な費目及び金額は、次のとおりであります。 運搬及び保管費 2,292百万円 従業員給与 1,043 役員賞与引当金繰入額 19 賞与引当金繰入額 385 退職給付費用 44 役員退職慰労引当金繰入額 18

## (四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
※1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成20年9月30日現在) (百万円) 現金及び預金勘定 9,901 現金及び現金同等物 9,901	※1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成21年9月30日現在) (百万円) 現金及び預金勘定 11,454 現金及び現金同等物 11,454
※2 当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローの売上債権の増加額には、手形債権の流動化によるキャッシュ・イン3,007百万円を含んでおります。	2 —

## (株主資本等関係)

当第2四半期連結会計期間末(平成21年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

## 1. 発行済株式の種類及び総数

普通株式 22,142千株

## 2. 自己株式の種類及び株式数

普通株式 1,257千株

## 3. 新株予約権等に関する事項

該当事項はありません。

## 4. 配当に関する事項

## (1) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成21年5月28日 取締役会	普通株式	898	43	平成21年3月31日	平成21年6月12日	利益剰余金

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの。

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成21年11月5日 取締役会	普通株式	1,044	50	平成21年9月30日	平成21年11月27日	利益剰余金

(セグメント情報)

**【事業の種類別セグメント情報】**

前第2四半期連結会計期間（自平成20年7月1日 至平成20年9月30日）及び当第2四半期連結会計期間（自平成21年7月1日 至平成21年9月30日）並びに前第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）及び当第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

当社グループは、「簡易食品容器関連事業」を主たる事業としており、全セグメントの売上高の合計及び営業利益の金額の合計額に占める「簡易食品容器関連事業」の割合がいずれも90%を超えているため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

**【所在地別セグメント情報】**

前第2四半期連結会計期間（自平成20年7月1日 至平成20年9月30日）及び当第2四半期連結会計期間（自平成21年7月1日 至平成21年9月30日）並びに前第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）及び当第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

当社グループは、本邦以外の国又は地域に存在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

**【海外売上高】**

前第2四半期連結会計期間（自平成20年7月1日 至平成20年9月30日）及び当第2四半期連結会計期間（自平成21年7月1日 至平成21年9月30日）並びに前第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）及び当第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

海外売上高は連結売上高の10%未満でありますので、その記載を省略しております。

(有価証券関係)

有価証券の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(デリバティブ取引関係)

対象物の種類が通貨及び金利であるデリバティブ取引は、事業の運営において重要なものではなく、かつ、取引の契約額その他の金額に、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(ストック・オプション等関係)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1. 1株当たり純資産額

当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)		前連結会計年度末 (平成21年3月31日)	
1株当たり純資産額	2,729.08円	1株当たり純資産額	2,594.40円

2. 1株当たり四半期純利益金額等

前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	
1株当たり四半期純利益金額	110.86円	1株当たり四半期純利益金額	166.65円
なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。		なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	

(注) 1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額		
四半期純利益(百万円)	2,325	3,480
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益(百万円)	2,325	3,480
期中平均株式数(千株)	20,975	20,883

前第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)		当第2四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)	
1株当たり四半期純利益金額	70.38円	1株当たり四半期純利益金額	80.03円
なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。		なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	

(注) 1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額		
四半期純利益(百万円)	1,469	1,671
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益(百万円)	1,469	1,671
期中平均株式数(千株)	20,885	20,883

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 2 【その他】

平成21年11月5日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

- |                     |             |
|---------------------|-------------|
| ① 配当金の総額            | 1,044百万円    |
| ② 1株当たりの金額          | 50円00銭      |
| ③ 支払請求の効力発生日及び支払開始日 | 平成21年11月27日 |

(注) 平成21年9月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行います。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

# 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成20年11月4日

株式会社エフピコ  
取締役会 御中

監査法人 トーマツ

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 世良 敏昭 印

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 高木 政秋 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社エフピコの平成20年4月1日から平成21年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成20年7月1日から平成20年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成20年4月1日から平成20年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社エフピコ及び連結子会社の平成20年9月30日現在の財政状態、同日をもって終了する第2四半期連結会計期間及び第2四半期連結累計期間の経営成績並びに第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- 
- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。  
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれておりません。

# 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成21年11月 5日

株式会社エフピコ  
取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 近藤 敏博 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 高木 政秋 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社エフピコの平成21年4月1日から平成22年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成21年7月1日から平成21年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成21年4月1日から平成21年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社エフピコ及び連結子会社の平成21年9月30日現在の財政状態、同日をもって終了する第2四半期連結会計期間及び第2四半期連結累計期間の経営成績並びに第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- 
- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。  
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれておりません。